

神奈川代協 2021年度通常総会を開催

代協が業界の声を届ける 志高い代理店を仲間に会員増強

神奈川代協(三ヶ尻明広会長)は5月19日、2021年度通常総会を会場とWebのハイブリッド方式で開催した。総会では2020年度事業報告や2021年度事業計画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決承認された。

総会に先立ち同代協の三ヶ尻会長が挨拶。代協活動の意義について三ヶ尻会長は「代協活動の意義は、私たちの本業である保険代理業が円滑に進められるように、そして今よりも良い環境になるようにするためのもの、つまりは自分自身のための活動であるということ、を、会長に就任してからも、実感している」と強調。こうした代協の意義をさらに高めるためには会員増強が必要だと考えを示し、「1代理店が要望の声をあげるよりも代協組織が業界の声を届けるようにしていくことが必要であり、そのためにも志の高い代理店を新しい仲間として代協に迎え入れていきたい」と述べた。

来賓からは、損保協会神奈川損保会会長の吉川雅也氏(東京海上日動執行役員横浜中央支店長)と日本代協理事の雨宮豊氏が挨拶。吉川氏は、損保協会が今年度から実施している3か年の第9次中期基本計画の内容について説明。今後の3か年で取り組み強化すべき重点課題として、持続可能なビジネス環境の整備と災害に強い社会の実現、損害保険リテラシーの向上を掲げているとして「具体的には、ハザードマップの活用促進による災害低減、災害に乘じた悪質商法いわゆる特定修理業者対策、高校生を中心とした保険教育の拡充などに取り組んでいく。これらについては代協の皆さまの協力をいただきながら展開していきたい」と述べ、代協の連携を呼びかけた。

前神奈川代協会長の雨宮氏は、「コロナ禍のなかで代協運営する代協会員に向けていたわりの言葉に向けていくことに、代協運営策のなかでは、神奈川代協を将来にわたって活性化させていくために「神奈川代協活性化特別委員会」を新たに設置することが決まり、「盤石な代協組織を構築できるように検討し改革を進める」とこととした。

自動車保険料支払いのポイント利用開始 SBI損保

SBI損保とTポイント・ジャパンは、5月26日から、「SBI損保の自動車保険」の保険料支払いに706.9万人(4月末時点、Tポイント・ジャパン調べ)が利用する日本最大級の共通ポイント「Tポイント」が利用できるサービスを開始した。

今後新規で「SBI損保の自動車保険」申込者は、保険料の支払いの際、保険料の10%を上限に、1ポイント1円相当としてTポイントを利用できる。なお、保険料支払いにおいてTポイントが利用できるサービスは、損害保険業界初(5月時点、同調べ)となる。



三ヶ尻会長



吉川氏



雨宮氏